

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

自らが輝き、人を元気にする。介護を通じてお客様の心を元気にし、社員が輝けば利用者様の心がさらに輝き出す。

PDハウス施設数
43施設

PDハウス床数
2,325床

採用倍率
8.0倍

② 中長期の経営戦略

1. PDハウスのブランド構築

パーキンソン病専門施設として専門知識・技術を磨き、脳神経内科医や大学病院との共同研究により新サービス開発し参入障壁を構築。

3. PDハウス中心の事業展開

軽度患者向けリハビリサービス提供、インターネットリハビリサービスの展開、海外展開を計画。

2. PDハウスの事業拡大

大都市圏と地方中核都市を中心に全国展開。エリア囲い込み、従業員適正配置、早期黒字化、高稼働体制の維持に注力。

4. 北陸エリア事業の維持

デイサービス、有料老人ホーム事業は業容を維持しながら経営を継続。

③ 対処すべき課題

① 再発防止策と内部統制強化

- ・ 訪問看護・介護事業リスク検討委員会の設置・運営、経営陣の施設ラウンド定期実施
- ・ QRコード電子記録制度導入、看護師3名以上による訪問看護計画作成、管理職のチェック体制強化
- ・ 共用部カメラ監視体制導入、管理部門看護部の新設、内部監査室による監査機能強化

② 高齢化への対応と医療専門化

- ・ 65歳以上人口が2070年に38.7%まで増加と推計される中での介護需要増加に対応
- ・ 地域包括ケアにおける専門性の高いケア提供施設としての役割を担う

③ 人材確保と育成

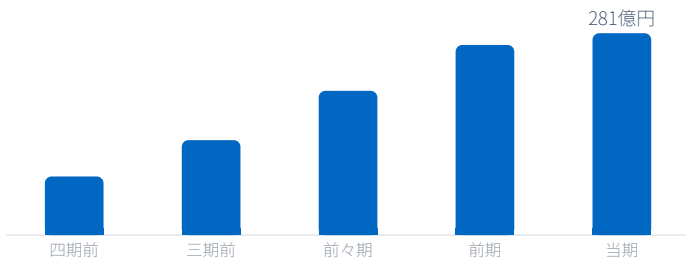
- ・ 採用倍率8.0倍を維持し、働きやすい職場環境整備で定着率向上を実現
- ・ 専門医監修の社内資格PDライセンス制度によるパーキンソン病ケア専門家育成

面接で使えるポイント

- ・ パーキンソン病患者約20.2万人に対し43施設で専門サービスを提供する差別化戦略に共感できるか。
- ・ 2070年の高齢化率38.7%に向けた地域包括ケアの専門性強化に貢献したいという志向があるか。
- ・ 特別調査委員会での不正事案を受け、内部統制強化と職場改革に主体的に関わる意欲があるか。

証券コード 9229

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
8点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 39.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
484万円

サービス業内 426位/524社

平均年齢
39.6歳

サービス業内 224位/527社

平均勤続
2.4年

サービス業内 499位/527社

女性管理職
29.1%

サービス業内 92位/371社

男性育休
77.6%

サービス業内 153位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: (株)サンウェルズ【9229】：決算情報

